

# まちの話題



10/26

ピザとスープが  
おいしくできました

おん・おーる食育講座が共栄コミセンで行われ、小学生10人が参加しました。メニューは音更産の食材を使用したピザと野菜たっぷりスープ。講師の山本先生(幕別高校家庭科教諭)や、助っ人として初参加の音更高校ボランティア同好会の生徒たちから、アドバイスをもらいながら、小学生たちは頑張りました。4回目の参加となる上野衣吹さん(緑陽台小6年)は、「生地を四角に伸ばすところが難しかったけど、100点の出来です。」と笑顔で話してくれました。



10/17

開かれた議会を  
目指し町民との意見  
交換会

町議会と意見交換をする目的で、町民意見交換会が木野コミセンで開かれました。高瀬議長は「忌憚のないご意見をいただき、議会運営に活かしたい。」とあいさつ。参加者からは「気軽に参加のできるタイトルにした方が良い。」「引き続き高齢者に優しいまちづくりを進めて欲しい。」など意見が上がった。参加した尾崎忠顕さん(緑陽)は「議員3～4人との交流会を継続して実施してくれると嬉しい。」と話していました。





## 仲間と協力して優勝するぞ



町スポーツ少年団フェスティバルミニバレー交流会がサンドームおとふけで開かれました。大会には町内スポーツ少年団から11チーム80人が参加。家族などが大きな声援を送っていました。音更ハンドボールクラブ男子Aチーム主将の伊藤陽太君は「パスをしっかりとつないで優勝します。」と熱く話していました。



## 岩手県軽米町議会と交流



軽米町議会と音更町議会の研修交流会が行われました。高瀬議長は「軽米町の先人、大川宇八郎翁が音更の大地に足を踏み入れたことがご縁で今があります。今後も絆を深めていきたい。」とあいさつ。議会運営などについて情報交換を行った後、バスで町内の施設を見学しました。



## ママ上手にできたよ～



町内4つの子育て支援センターの合同運動会がサンドームおとふけで開かれ、1歳から3歳までの親子105人が参加しました。競技中は、終始笑顔の子や、泣きながら頑張る子の姿も。家族3人で参加した明河桜大君のお母さんは「とても楽しかったです。」と頑張る子どもたちを応援していました。



## 芸術の秋に親しみながら



文化センターなどでおとふけ文化祭が開かれました。文化センターでは手芸や華道、アートフラワーなどが展示され、訪れた人たちは、足を止めて見入っていました。また、共栄コミセンでは菊花・盆栽展が行われ、審査員は、出品者が丹精込めて育てた菊の花約280点の力作を一つずつ丁寧に審査していました。